

4月より新年度スタート！山脈は厳しい経営局面に！

世界は今、新型コロナウイルスの感染が拡がり、とても厳しい状況です。東京オリンピックを始め、多くのイベントが延期や中止になり、経済活動にも多大な影響が生じ、世界を巻き込んだ大変な混乱が起きています。そんな不安な情勢の中、特定非営利活動法人山脈も新年度スタートしました。

特定非営利活動法人山脈は、この4月より創立17年目に入りました。しかし、当法人は創立以来、これまでにない非常に厳しい危機的な経営状況に見舞われています。何とか厳しい状況を打開するため早急に障害者福祉サービス事業の見直しや職員体制の見直しなど抜本的な変革を行うべく役員一丸となり英知を絞らなければなりません。そして、そこには痛みも伴うことも余儀ない状況とも言えます。

障害者福祉サービスは、一昨年4月に行われた報酬改定以後、大きく成果主義を取れました。特に就労系の障害者福祉サービス事業（就労移行支援・就労継続支援A型・就労継続支援B型）では、「何人、就職させたか？」、「何時間の雇用時間を確保できたか？」、「どれだけ工賃を上げたか？」を重視し、その結果により、次年度の運営となる基本報酬が決定される制度になりました。結果、当該年度が終わり、その成果がわかるまで収入の明確な予想が見えません。つまり、新年度の予算が明確にできないままスタートをせざるを得ない状況です。しかも、事業所の運営の根幹となる基本報酬の単価が前年の業績より変化し、その増減は大きく支援体制の確保や職員配置にも苦慮する状況です。

就労継続支援B型の基本報酬は平均月額工賃によって7ランクに区別され、更に利用定員の数によって5段階に分かれています。例えば、下表の様に20人以下の定員の就労継続支援B型の事業所の場合、前々年度に授産事業の業績が良く利用者に支払う月額平均工賃が2万円から2万5千円のランクだとすると基本報酬単価は600単位(6,000円)で、年間収入は、(6,000円×20人)×22日×12ヵ月で約3168万円になります。しかし、翌年度に授産事業の業績が落ち、利用者に支払う月額平均工賃が1万円から2万円のランクに下がったとたん基本報酬単価は589単位(5,890円)になり年間収入は、(5,890円×20人)×22日×12ヵ月で約3,110万円となり約60万円の減収になります。

【就労継続支援B型サービス費Ⅰ】

平均月額工賃	45,000円以上	30,000円以上 45,000円未満	25,000円以上 30,000円未満	20,000円以上 25,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	5,000円未満
20人以下	6,490円	6,240円	6,120円	6,000円	5,890円	5,740円	5,650円
21人～40人	5,750円	5,550円	5,440円	5,340円	5,240円	5,110円	5,030円
41人～60人	5,400円	5,210円	5,110円	5,010円	4,920円	4,790円	4,720円
61人～80人	5,300円	5,110円	5,020円	4,929円	4,830円	4,710円	4,630円
81人以上	5,130円	4,940円	4,850円	4,760円	4,670円	4,540円	4,470円

また、就労継続支援A型・B型には、就職した利用者が6ヵ月以上就労が継続した者がいる場合、その人数に乗じた就労移行支援体制加算があります。当法人では、一昨年度、7名の就職者を出し、この加算の総額が年間1千万円以上ありました。しかし、昨年度は1名も就職者はなくその加算はなくなりました。これらは、成果主義による不安定な報酬制度の一例です。

多くの就労系の福祉サービス事業所は、工賃や就職について、何とか利用者の希望に応えようと職員は懸命に支援をしていますが、社会や経済情勢の影響を受けるため必ず成果に現れる訳ではありません。しかし、その対価である報酬は結果の数字だけで評価されてしまいます。障害者福祉サービス事業の現場では、毎年、新年度に向け、長期的な収入の安定が見通せない中、必要な人材の確保や留保に苦慮している現実があります。

当法人としても、きょうされん等を通じ、こうした就労系福祉サービスの現場の声をあげ続けて、国や行政に訴えていかなければと思います。そして、この厳しく危機的な状況をなんとか打破して行かなければなりません。

令和元年度 特定非営利活動法人山脈 職員研修会

令和2年2月15日(土)、吉岡町文化センター研修室にて、年に1度の特定非営利活動法人山脈の職員研修会が開催されました。この研修会は、各事業所より選出された委員で構成される職員教育委員会にて企画から運営までを行っています。毎月1回、委員会を開き、研修全体のテーマ、講師の選定、講演内容、グループワークのテーマや内容など、半年以上前から準備をしてきました。毎回、今、抱えている山脈の課題や職員の課題などを話し合い、更に講師の方ともテーマ、テキスト、グループワークの内容など打合せをし、完全にオーダーメイドな研修です。

講師は、一昨年、昨年に続き、FMぐんまの奈良アナウンサーにお願いしました。一昨年は、「福祉施設の職員の接遇」をテーマに電話対応や利用者との接し方などを学び、昨年は「褒め方、褒められ方」をテーマに組織内における上司と部下、同僚など、人間関係を円滑にする方法を学びました。

今年のテーマは、「仕事が楽しくなる魔法」

「仕事が楽しくなる魔法」と聞くと、そんなおとぎ話みたいなことって思うかもしれませんが。しかし、毎日の仕事の中で愚痴や不満を抱えていたとして、それを愚痴で終わらせず、あなたや職場の抱えている問題解決の糸口にできれば、そして、より良い職場環境が変えられたら仕事が楽しくなりませんか？つまり、「仕事が楽しくなる魔法」とは、「問題解決」、つまりは「業務改善」のことなのです。

そこで、午前中は「仕事が楽しくなる魔法」をひも解くために、「問題解決」について講義を受けました。



「問題解決」の3つのステップ

職場における「問題解決」は、次の3つのステップをチームで考えることで取組んで行くことになります。

- ① 「問題は何か？なぜ、それが問題なのか？」
- ② 「どのような方法で解決したらよいのか？」
- ③ 「改善した姿はどのようにになっているか？」

立場を超えて意見が出し合えるフラットな関係

ところで、実際に、問題に気付いていても、職員が「私の意見なんか通らない」、「意見をしてもきっと否定される」、「私の立場で意見なんて無理」、「私には興味ないし、私は関係ない」といった職場環境では問題解決には至りません。問題解決には立場を超えて意見が出しあえるフラットな関係が必要になります。

「働かされる」から「率先して働く」チームへ

問題解決に必要なチーム(職場)では、職員のひとりひとりが仕事に対して目的意識を共有し、自分事として捉え、率先して提案し行動することが求められます。

「問題解決」はPDCAサイクルで

問題解決にはトライ&エラーを繰り返し、徐々に改善に近づけて行く地道な修正プロセスが必要になります。その際に用いられるのが、PDCAサイクルと呼ばれるPlan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Act(改善)の4段階を繰り返すプロセスです。エラー(問題)について、このプロセスを通じ、業務を継続的に改善しブラッシュアップし、その精度を高めて行きます。PDCAサイクルを身に付け、「業務改善」が活発な職場になったら毎日の仕事が楽しくなりませんか？

グループワーク「問題解決のプロセスの実践」

午後からは、5～6人のグループに分かれ、午前中に学んだ「問題解決のプロセス」について、課題を選び実践します。事前に用意された課題は6つあり、この中から、各グループが1つの課題を選び、この研修に臨んでいます。

【課題】

1. エレベーター内でのストレスを改善するには
2. 選挙の投票率を上げる秘策
3. バイキンマンがアンパンマンに勝つためには
4. 病院の待ち時間を減らすには
5. シャッター商店街(空き店舗)を活性化する方法
6. 子供からお年寄りまで家族みんなで見られる番組を作るとしたら



普段の仕事を離れ、非日常的な環境で自由な討議

職員教育委員会では、毎年、グループワークの実施にあたり、参加者が職場での立場や業務とは異なる非現実的な環境を用意することで、参加者全員が自由な発想、意見が出せるようにと配慮しています。そこで、今回も普段の仕事に関係のない課題をいくつか用意しました。また、グループ分けも事業所や役職などに関係なく無作為に決めています。

グループワークは、選ばれたその課題について、下記のプロセスについて考えることから始まりました。

1. 「問題はなにか？」
2. 「どのような解決策があるか？」
3. 「解決すると何が改善されるか？」



グループワークでは、用意された模造紙に活発に職員から出された意見が書かれた附箋が次々に貼られ発表用にまとめられて行きます。更によりわかりやすくするためにイラストを描いたり、グループごとに様々な工夫がされます。



様々のアイデアに溢れたグループ発表

グループワークの仕上げは、グループ発表です。同じ課題を選んでもグループによって視点が違っていたり、まとめ方も様々です。毎年、このグループワークの発表を見るのが楽しみです。そして、普段からこんなに活発に意見が飛び交うミーティングが各事業所で毎日行われていたら、どんな課題も解決できそうでとてもワクワクさせられます。

グループワークの最後は、全員の投票により最優秀グループが選ばれます。正直、どこも様々なアイデアに溢れていて甲乙つけがたい発表ばかりです。最優秀グループに選ばれた職員はとても誇らしげでした。来年も期待します！



レクリエーション

【絵画教室】

5月の絵画教室はお休みです。
コロナウィルス感染拡大を受け、密閉・密集・密接を避けた対応が必要と判断しました。安心してまた絵画教室が開催できるようになりましたらご案内致します。

ホプ・オブ・ハート開催します！

令和2年5月30日(土) 11:00~14:00
NPO法人山脈 キッチンハウス休憩室
今回は、「幻聴・妄想大会」と銘打って語り合う予定です。参加は自由。ピアの方、そうでない方、ピアに興味にある方、家族も支援者でも参加できます。
(詳しくは同封チラシをご覧ください)



法人からのご案内

新年度(令和2年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発行 特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住 所：群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電 話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-vamanami.jp

URL：<http://www.npo-vamanami.jp/>

運 営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」

多機能型事業所(就労継続支援A型・B型)「キッチンハウスみやま」

多機能型事業所(生活訓練・就労移行支援)「ワークハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)